

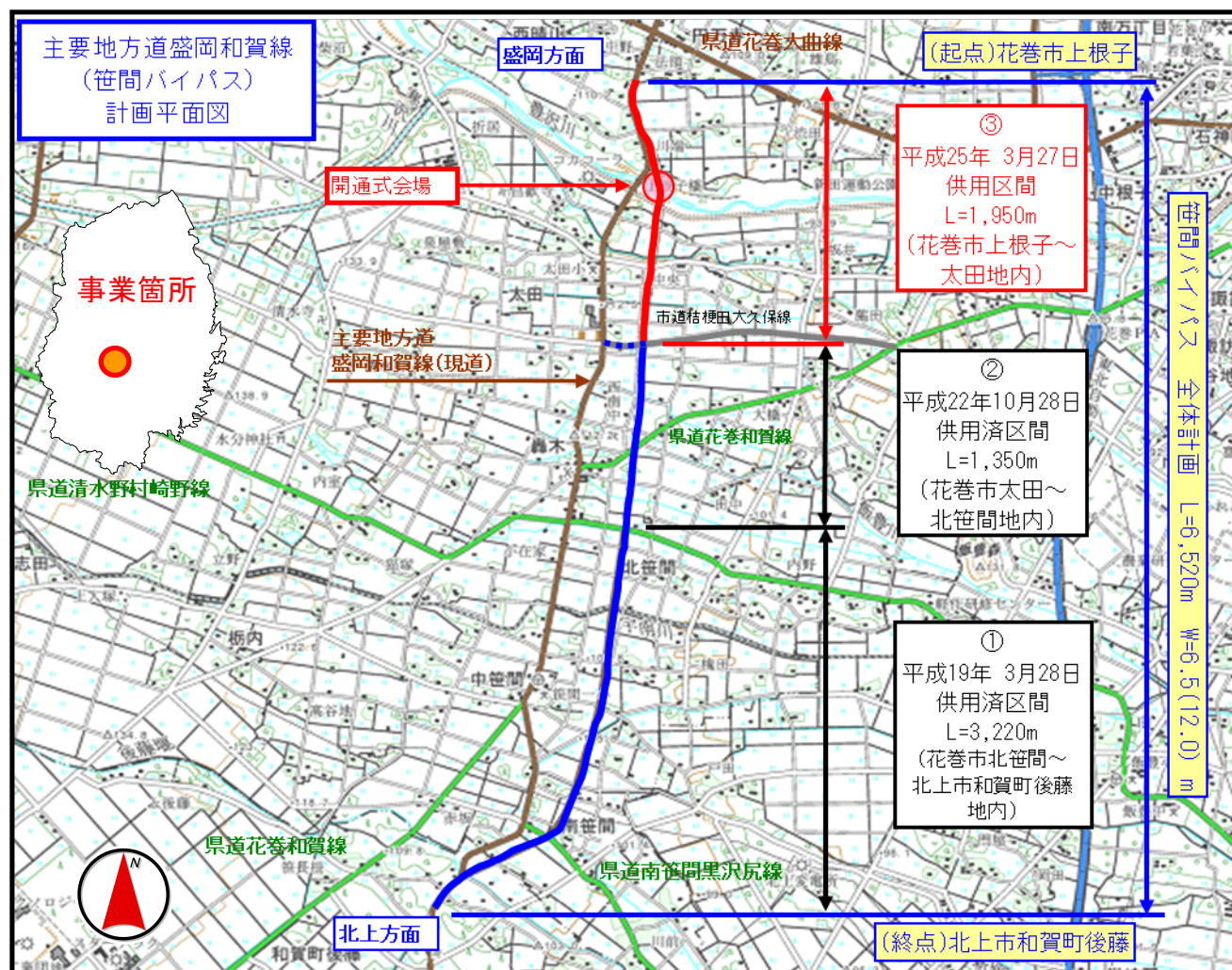
～ 安全で円滑な交通確保と地域産業の振興へ ～



主要地方道盛岡和賀線笹間バイパスは、平成 25 年 3 月 27 日（水）13 時に花巻市上根子～太田地内の延長 L=1,950m（計画平面図③の区間）を供用開始し、これに伴い同バイパスが全線開通しました。

同路線は、盛岡市の主要地方道盛岡横手線を起点とし、北上市の一般国道 107 号を終点とする延長 49.5 km の幹線道路で、地域間の交流・連携や地域産業の振興に資するとともに、東北縦貫自動車道及び一般国道 4 号の代替ルートとして重要な役割を担っています。

当該箇所は人家や公共施設の密集地域で、大型車が数多く通行しますが、道路の幅員が狭く変則交差点や急カーブが存在し、その交通安全対策等が課題となっていました。このため、岩手県では安全で円滑な交通の確保を目的として平成14年度からバイパス事業に着手し、沿道住民及び関係機関の皆様から御協力をいただきながら用地取得・工事等を進めてきたものです。



なお、同バイパスの全体延長L=6,520mのうち、これまで平成19年3月に花巻市北笹間～北上市和賀町後藤地内の延長L=3,220m（計画平面図①の区間）、平成22年10月に花巻市太田～北笹間地内の延長L=1,350m（計画平面図②の区間）をそれぞれ供用済みです。

バイパスの計画概要

1. 全体延長 : 6,520m
2. 道路規格 : 3種2級
3. 設計速度 : 60km/h
4. 計画交通量 : 9,976台/日（H42年）
5. 道路の幅員 : 一般部 6.5（12.0）m
※車道 6.5+路肩 3.0+歩道 2.5（西側のみ）
橋梁部 6.5（11.0）m
※車道 6.5+路肩 2.0+歩道 2.5（西側のみ）
6. 主要構造物 : 上根子橋（橋長 165.2m）
7. 総事業費 : 約39億7千万円



現道の事業着手前の状況（轟木地区）



バイパスの開通後の状況（轟木地区）

開通式の様子

開通日には、沿道住民や関係者ら約150人が出席し、新しい上根子橋の北側で地元実行委員会主催による開通式を行いました。式では、神事で交通安全を祈願した後、田村県南広域振興局長と大石花巻市長の手で上根子橋の橋銘板が除幕されたほか、関係者によるテープカット、くす玉開披及び地元3世代夫婦らによる渡り初めなどが行われ、出席者全員で待望の全線開通を祝いました。

本バイパスの全線開通により、物流の効率化や地域産業の振興に大きな効果がもたらされることが期待されています。また、安心して快適に道路を利用していただけるよう、ご利用の皆様には安全運転をお願いします。



関係者によるくす玉開披



三世代夫婦を先頭に
出席者全員で渡り初め